

「小樽港の臨港地区内の分区における構築物の規制に関する条例の一部改正(原案)」
 に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

- | | |
|----------------------|-------|
| 1 意見等の提出者数 | 11 団体 |
| 2 意見等の件数 | 15 件 |
| 3 上記2のうち計画等の案を修正した件数 | 0 件 |
| 4 意見等の概要及び市の考え方等 | |

No	意見等の概要	市の考え方等
1	(分区条例全般) 小樽市の活性化のため土地利用の適正化促進を進める本条例改正に賛同致します。	公表しました「原案」のとおりとさせていただきます。
2	(分区条例全般) 条例制定以前にこの土地を買って欲しいと言われ買い、建物を建てていいと言われ建設したが、条例制定後、2割以上の増築、新たな建替えも一切行うことが出来なくなった。固定資産税もきちんと払って此処までできました。何か悪い事したでしょうか教えてください。 心配もせず安心して営業出来る様、「市長が指定する区域」のように現在の実態に沿った分区条例の見直しを切に訴える。	分区条例は、臨港地区において、条例制定以前には、都市計画の用途地域の規制しかなく、集客施設が立地し始めたことから、臨港地区内の土地利用の目的や方針を明確にすることにより、各地区の特性に合わせた港湾の利用促進を図るため、平成8年に制定したものであります。 今回の改正により、既存の建物のすべてが条例に適合することにはなりません、商港区と工業港区においても、飲食店は150㎡まで、物販店は200㎡まで建設を可能とすることにより、現段階では、これ以上の規制緩和は、港湾活動への影響が大きく、難しいものと考えております。
3	(分区条例全般) 規制緩和が、行政の立場を弱くすると考えることが最も恥ずべき行為である。世界情勢や経済環境の変化が著しい今日、変化に速やかに対応できる行政であることを切望します。	分区条例の制定及び見直しにつきましては、これまで、臨港地区内の土地利用の現況把握に努めるとともに、社会・経済情勢の変化を見ながら、地権者や関係者の皆様とも十分協議してきたところでありますが、今後の見直しにおいても、これまでと同様に進めてまいりたいと考えております。
4	(分区条例全般) 今後の物流システムの変化、小樽運河周辺を中心とした観光事業など、小樽のまちづくりの過程で当方に不都合が生じた場合、条例見直しなど協議させて戴きたい。	
5	(分区条例全般) 小樽港の分区の見直し及び変更が検討された事に大変感銘致しました。 海を真近にした最高のロケーションの中に住まいが有ったら余生ものんびり過ごしてみたいと思われている市民の方も大勢いると思います。	臨港地区は、多数の港湾事業者、運送事業者等が立地する業務地区であり、重機や大型トラック等の交通量も多く、住宅や市民サービス施設等との混在は避けるべきと考えております。
6	(港区の変更) 分区指定図②の部分を商港区から無指定区域へ変更する案に同意します。	公表しました「原案」のとおりとさせていただきます。

No	意見等の概要	市の考え方等
7	<p>(港区の変更)</p> <p>小樽市は分区条例により、小樽市の経済的發展を阻害してきた事実と場当たりのな対処により、市民の財産権を侵害してきた事実を認めるべき。</p> <p>指定解除することについては何の異論はないが、小樽市として解除する理由、根拠が曖昧である。</p> <p>港湾に面する部分及び現在倉庫として使用されている部分のみを商港区、工業港区、漁港区として残すという考え方で見直すべき。</p> <p>臨港道路の両側は勿論、現在倉庫として利用されていない土地については、全て(分区を)解除すべき。</p>	<p>今回の分区の一部見直しは、平成19年度に策定した「小樽港将来ビジョン」及び平成20年度に策定した「第6次小樽市総合計画」の方針に基づき、分区の港区の一部解除と条例の一部改正により、臨港地区内の土地利用の活性化を促進するために行うものであります。</p> <p>また、港湾の利用促進を図るため、臨港地区内の各地区の特性を考慮しながら、地区ごとに一体的な土地利用が必要と考えております。</p>
8	<p>(港区の変更)</p> <p>分区指定図②の地区に立地しているが、規制緩和により、将来、店舗、建物の進出と人の流れの変化により、我々事業活動と全く融合出来ない事態となり、古くからいる我々が移転を余儀なくされることが危惧される。</p> <p>民間の事業活動には行政が介入ができないことは承知してるが状況把握と適切な指導を願いたい。</p>	<p>今回の規制緩和は、臨港地区内の港湾関係事業や運送事業の支障とならない範囲での改正と考えております。</p>
9	<p>(分区条例の一部改正)</p> <p>一部改正案について、概ね賛成します。(2件)</p>	<p>公表しました「原案」のとおりとさせていただきます。</p>
10	<p>(分区条例の一部改正)</p> <p>商港区、工業港区の用途規制の変更については、道路(物流導線)や環境問題についても考慮してもらいたい。</p>	<p>商港区及び工業港区については、飲食店は150㎡まで、物販店は200㎡まで建設を可能としますが、交通や環境に影響を与えるおそれのある大規模集客施設は制限することとしております。</p>
11	<p>(分区条例の一部改正:商港区)</p> <p>商港区内の用途規制の変更については、同意します。</p>	<p>公表しました「原案」のとおりとさせていただきます。</p>

No	意見等の概要	市の考え方等
12	<p>(分区条例の一部改正：工業港区)</p> <p>現在、手宮地区の工業港区に属していますが、移転後、現在地の使用目的が限られているため、対応に苦慮しております。</p> <p>歴史的景観地域から離れており、使用目的の範囲を拡大し、有効に活用できる状態が望ましいと思います。</p>	<p>今回の改正で、工業港区においては、飲食店は150㎡まで、物販店は200㎡まで建設を可能としますが、当該工業港区には、現在のところ多数の危険物保管施設が設置されていることから、工業港区が望ましいと考えております。</p>
13	<p>(分区条例の一部改正：工業港区)</p> <p>現在、手宮地区の工業港区に立地していますが、既存産業の振興と港等の地域資源を活かした新産業の創出を見つけていただき、産業の活性化と調整を図ることが行政として必要であると思います。</p> <p>社会・経済環境に対応した工業地帯の再生や港湾機能の整備・充実、市民に親しまれる港づくりのため、祝津水族館へ行く街道沿いを工業港区から商港区・無指定区域に緩和していただきたい。</p>	
14	<p>(地区計画)</p> <p>港町C地区は、A、B地区に比べ運送会社、倉庫、フェリー等があり、大型車輛の通行量が多く、フェリーへ供給する危険物燃料タンクも設置されている地区であり、ホテルや旅館、一般市民が集う施設やサービス機関等の用途制限があってしかるべきだと思います。</p>	<p>御意見と同様の趣旨で土地利用を誘導したいと考えており、都市計画の検討において参考とさせていただきます。</p>

※No14までとなっていますが、No9が同一意見で2件あるため、提出された意見は合計で15件となります。